

議題 1

埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進計画の
進捗状況について

- (1) 脳卒中・心臓病等総合支援センターと協働した取組
について
- (2) 各項目の取組実績及び評価について

第2期 埼玉県循環器病対策 推進計画

事業期間 R6～R11

脳卒中及び心筋梗塞等の発症予防・重症化予防に向けた生活習慣の改善や早期受診の重要性の普及啓発、急性期、回復期から社会復帰に向けた切れ目のない医療提供、リハビリテーションを通じ、患者支援体制の充実に取り組む。

個別施策

- ① 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発
- ② 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実
 - a. 予防検診の普及・推進
 - b. 救急搬送体制の整備・医療提供体制の構築
 - c. リハビリテーション等への取組
 - d. 後遺症支援
 - e. 緩和ケア
 - f. 両立支援・就労支援
 - g. 小児期・若年期対策
 - h. 情報提供・相談支援
- ③ 施策の総合的かつ計画的な推進の確保

➤ 県民向け公開講座

「～冬場の心臓病・脳卒中に要注意！～いま知っておきたい予防の知識」

日時: 令和7年12月7日(日)13:00～15:30

会場: 越谷市中央市民会館 劇場 (後日オンデマンド配信)

来場者数: 142人 (申込180人)

I 心臓病編

(1) 「元気に長生きするために ～心筋梗塞・心不全・脳梗塞は予防できます！～」

(講師) 循環器内科 医師

(2) 「心疾患の生活指導について」

(講師) 心不全療養指導士 (看護師)

II 脳卒中編

(1) 「脳卒中に『ならない』『負けない』ための基本の“き”」

(講師) 脳神経内科 医師

(2) 「脳卒中になってしまったら ～地域連携の重要性～」

(講師) 脳神経外科 医師

県民向け公開講座 令和7年度埼玉県循環器病対策事業 彩の国 埼玉県

参加無料

～冬場の心臓病・脳卒中に要注意！～
**いま知っておきたい
予防の知識**

令和7年
日時 **12月7日(日)**
13:00～15:30

場所 越谷市中央市民会館 (1階劇場)
越谷市越ヶ谷四丁目1番1号
東北スクエアビル 越谷駅 徒歩7分
※公共交通機関でお越しください

対象 埼玉県民、県内在住のどなたでも 先着300名

申込 スマートフォンの場合
PCの場合

📄 <https://forms.gle/URqRjcn4SXafgA26>

講演

- 元気に長生きするために～心筋梗塞・心不全・脳梗塞は予防できます！～
田口 功 先生
(埼玉医科大学埼玉医療センター 循環器内科 主任教授)
- 心疾患の生活指導について
二階堂 由梨 氏
(埼玉医科大学埼玉医療センター 心不全療養指導士)
- 脳卒中に『ならない』『負けない』ための基本の“き”
赤岩 靖久 先生
(埼玉医科大学埼玉医療センター 脳神経内科 講師)
- 脳卒中になってしまったら～地域連携の重要性～
丸木 鏡 先生
(越谷市立病院 名誉院長)

問合せ: 埼玉県府民支援課 専048-830-3598 (平日8:30-17:15) 埼玉県循環器病対策事業 公開講座
埼玉県医科大学埼玉医療センター 公開講座事務局 専042-978-7137 (平日8:30-17:15)
共 催: 埼玉県 / 越谷市 / 埼玉医科大学埼玉医療センター
後 援: 一般社団法人埼玉県医師会 / 一般社団法人越谷市医師会
公益社団法人 日本脳卒中協会埼玉支部 / 一般社団法人 日本循環器協会埼玉支部

埼玉県循環器病対策事業 公開講座 検索

➤ 介護職向け研修会

「循環器疾患に関する基礎知識 ～医療職から介護職へのメッセージ～」

日 時:令和7年11月18日(火) 16:00～17:30

開催方法:オンライン開催

参加者数:166名

<p>「見逃してはいけない脳卒中のサイン～突然やってくる“その時”に備える～」 (講師)埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師</p>
<p>「心臓病と心不全 ～病気と兆候・療養生活の基本～」 (講師)埼玉医科大学国際医療センター 植込み型心臓デバイス認定士・心不全療養指導士</p>
<p>質疑応答 (進行)埼玉医科大学国際医療センター 看護師長、看護師</p>

令和7年度埼玉県循環器病対策推進事業
 脳卒中・心疾患等循環器病地域連携
 介護職向け勉強会

『第2回循環器疾患に関する基礎知識』
 ～医療職から介護職へのメッセージ～

普段から患者の身近でかかわる介護職の皆さんと、循環器疾患の基礎知識として、いつもと違う変化や体調不良に気づき受診を促す知識を共有します。

日 時:2025年11月18日(火)
 16:00～17:30

開催方法:WEB開催

司 会:田口 裕彦(埼玉医科大学国際医療センター 看護師長)
 金井 利沙(埼玉医科大学国際医療センター 看護師)

【講 演】

①見逃してはいけない脳卒中のサイン～突然やってくる“その時”に備える～
 穂谷 奈緒(埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師)

②心臓病と心不全～病気と兆候・療養生活の基本～
 寺師 義典(埼玉医科大学国際医療センター 植込み型心臓デバイス認定士、心不全療養指導士)

③質疑応答

申し込み締め切り:2025年11月15日(土)

申し込みURL: <https://forms.gle/eXEgkqdHxREUgQV27>

問合せ:埼玉県保健医療部疾病対策課 048-830-3598 (平日8:30～17:15)
 埼玉医科大学国際医療センター
 脳卒中・心臓病等総合支援センター事業事務局 042-984-4128 (平日8:30～17:15)

共 催:埼玉県/埼玉医科大学国際医療センター

➤ 薬薬連携研修会

「心不全治療の最前線から薬薬連携を考える」

日 時: 令和8年2月10日(火) 18:00~19:30

開催方法: オンライン開催

基調講演
「患者さんに抗心不全薬を説明するための TIPS」 (講師) 埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科 医師
一般講演
I 「入院治療における病院薬剤師の取組と退院後の患者支援に対する課題」 (講師) 埼玉医科大学国際医療センター 薬剤師
II 「心不全患者の再入院予防に向けた薬局薬剤師の取組と課題」 (講師) アイン薬局 薬剤師
(進行) 埼玉医科大学国際医療センター 薬剤師

令和7年度埼玉県循環器病対策推進事業
脳卒中・心疾患等循環器病地域連携
薬薬連携研修会

『心不全治療の最前線から薬薬連携を考える』

心不全の最新の薬物療法を紹介するとともに、急性期から生活期までの各段階において、再発や重症化を防ぐための薬剤師の役割について考えます。

日 時: 2026年2月10日(火)
18:00~19:30

開催方法: WEB開催

司 会: 伊藤 護之 先生
(埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 部長)

【講 演】

基調講演: 患者さんに抗心不全薬を説明するためのTIPS
中笠 信太郎 先生 (埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科 教授)

一般講演:

- ①入院治療における病院薬剤師の取組と退院後の患者支援に対する課題
鈴木 善樹 先生 (埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部)
- ②心不全患者の再入院予防に向けた薬局薬剤師の取組と課題
師藤 成美 先生 (アイン薬局島根店)

申し込み締め切り: 2026年2月7日(土)

申し込みURL: <https://forms.gle/Ke22WDNfu8jeJLfQ6>

※ご入力いただいたメールアドレスへ回答のコピーが送付されます。1日経過後も申し込みQRコード届かない場合は、脳卒中・心臓病等総合支援センター事業事務局へご連絡ください。

問合せ: 埼玉県保健医療部疾病対策課 ☎048-830-3598 (平日8:30~17:15)
埼玉医科大学国際医療センター
脳卒中・心臓病等総合支援センター事業事務局 ☎042-984-4128 (平日8:30~17:15)

共 催: 埼玉県 / 埼玉医科大学国際医療センター

➤ 地域連携研修会

「比企・北部・秩父地域の医療機関との勉強会」

日時: 令和8年3月10日(火) 18:00~19:00

開催方法: オンライン開催

テーマ: 心不全における地域連携について

対象: 医師(循環器を専門としないかかりつけ医等)
看護師等の医療職、他

(案)

医師による講義

心不全とは、心不全の早期発見・早期対応、心不全の治療 等
(講師) 県立循環器・呼吸器病センター 循環器内科 医師

認定看護師からの講義

心不全予防のための生活習慣、患者のセルフケアを支援するかわり 等)
(講師) 県立循環器・呼吸器病センター 慢性心不全看護認定看護師

(進行) 埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科 医師

現在企画中

1_(1)_5 郡市医師会、在宅医療連携拠点を対象とした説明会

- 脳卒中・心臓病等総合支援センターの令和7年度計画案について、県医師会に説明を実施。
- 医師会意見「在宅医療連携を推進するため、**郡市医師会**や**在宅医療連携拠点**の方へ総合支援センター事業の情報をしっかり伝えることが重要」
- 医師会との共催により郡市医師会、在宅医療連携拠点を対象とした説明会を実施。

主 催	埼玉医科大学国際医療センター、埼玉県、埼玉県医師会
日 時	2025年8月28日（木）18時から19時30分
参加対象	郡市医師会（地域連携担当）、在宅医療連携拠点コーディネーター、 県立病院機構
参加者数	33名（13郡市医師会、16在宅医療連携拠点、県立病院機構）

○ 治療と仕事の両立支援・就労支援への取組

・ 「脳卒中相談窓口連携会議」の開催

全国の脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業病院と共に展開している「両立支援調査」について、県内の一次脳卒中センター施設や回復期リハビリテーション病院等との情報共有や意見交換を行った。

両立支援調査2024

令和5年度厚労科研究FA-1018
回復期以降の循環器病に対する多職種連携による患者支援体制の充実・普及に資する研究

● 対象府県 R5年度総合支援セ事業採択8県

● 調査内容

当該県のすべての一次脳卒中センター(PSO)および回復期リハ病院から直接自宅退院した脳卒中患者の両立支援の実施状況を調査



● 調査期間

2024年10月～2025年3月

※ 上記期間中の退院から18か月後までの間に行われた両立支援

● 期待される効果

- ① 脳卒中相談窓口連携会議の設立と 地域連携の活性化
- ② 悉皆性のあるデータに基づいた 下記3点の把握
 - ・ 「療養・就労両立支援料」の対象となりうる 脳卒中患者の割合
 - ・ 上記のうち、70歳～79歳の患者の割合(2023調査に無かった新規項目)
 - ・ 「療養・就労両立支援料」の現実(算定状況や算定困難な理由)

埼玉県脳卒中相談窓口会議「中間解析結果説明会」 : 2025.11.11.Tue.

両立支援調査2024の中間解析結果報告

— 埼玉県の結果・動向を中心に —

京都大学医学部附属病院 脳卒中療養支援センター

榎戸 真弓



本演題の発表に際して開示すべきCOIはありません。

KU:IP